

助成対象活動 一覧

令和6年度

件数	事業名	団体名	活動の概要
1	廃プラスチックのアップサイクルとワークショップ	Adachi Plastic Upcycle	ペットボトルキャップをより見栄え良くかつ実用的な製品へアップサイクルさせ、ワークショップ等を通じて広く啓発し、若年層への環境意識の醸成を図る。
2	あだち気候区民会議	ゼロ会	環境に興味がある区民を募集し、気候変動の両立策をテーマとした会議体を立ち上げる。専門家を交えた会議をワークショップ形式で行う。
3	廃棄される野菜の有効活用と、地域住民への周知活動	ワーカーズコープ 青井	廃棄される規格外の野菜や果物を使用した焼き菓子を開発し、販売。近隣住民を対象に企画外商品に関する講座を開催しフードロスに対する意識改革を行う。

令和5年度

件数	事業名	団体名	活動の概要	助成金額
1	緑の保全および廃棄物の処理の改善	青井第一自治会	自治会の役員及び住民に向けた勉強会や施設見学会を実施し、敷地内の緑化や緑地の保全、廃棄物の適正処理と地域への啓発活動	41,000円
2	養蜂を通じた環境保全への貢献と地域住民交流を活性化する活動	NPO法人 花畑養蜂ボランティア	区内で養蜂を開始し、地域住民も交えた勉強会、養蜂体験やワークショップを通じて、地域の環境意識の醸成や緑化を推進する	200,000円
3	子供に向けた動物と一緒に学ぶ環境教育プログラムの実施	帝京科学大学動物介在教育活動研究部	部で蚕を飼育し、子供向けの養蚕体験や蜂の巣を使ったプログラムを実施し、子供たちの環境意識を醸成する	辞退
4	可愛い衣装をした子供たちの花畑クリーンパレード	ひだまりしゅしゅ花畑	子供を対象に、ごみの分別やリサイクルについて学ぶきっかけづくりを目的とした活動をハロウィンのイベントにあわせて行う	189,000円
5	「SDGs」を知ろう！伝えよう！広めよう！	はにわのかい	申請団体が「SDGs」について学び、学校や地域へ伝え広めることで、どのような地域貢献活動が可能か検討していく取り組み	153,000円

令和4年度

件数	事業名	団体名	活動の概要	助成金額
1	ペットボトルキャップを由来としたトイレタリー容器原料の製造	進栄化成株式会社	・ ペットボトルキャップを原料とした再生原料で、トイレタリー製品を製造する。 ・ 小学校における出前講座での啓発活動	10,000,000円
2	プラスチックフリー農産物販売の実践と環境意識の醸成	合同会社 ひとつやねのした	・ プラスチックフリーの青果物販売 ・ 東京都エコ農産物の認証を受けた区内の農家と連携し、販売者、消費者、農家に向けて啓発チラシを作成、環境意識の醸成を目指す	175,000円
3	#千住暮らし まちめぐり	#千住暮らし プロジェクト	区内企業で廃棄される残紙でつくるノートを作成、イベント時に配布	118,000円
4	小学生の環境意識向上と地域団体と連携した活動への展開	株式会社 オプティ	不要化粧品で作成した絵の具で、子ども達が絵を描くイベントを開催。イベントを通じて廃棄物削減や資源の重要性を伝える	132,000円
5	商店街全体の環境意識向上と地域と連携した活動への展開	区内商店街 (23か所)	商店街オリジナルエコバッグの作成と商店街利用者への配布	4,577,000円 (199,000円*23)
6	VR技術による都市部での冠水状況体験システムの実証実験	東京電機大学	道路冠水の際の避難困難さをVR技術により疑似体験できるシステムを開発し、区民が利用・体験することで防災意識の向上を図る	466,000円
7	バイオマス「竹」の「食」への利用による循環型社会構築の実証	東京電機大学	竹を、減圧マイクロ波処理により食に適した高繊維資材へ転換し、小麦粉等と混合して健康、病気予防を訴求する食品として提供する	4,989,000円
8	再生プラスチック活用したアップサイクルコミュニティの実現	Adachi Plastic Upcycle	Precious Plasticという、プラスチックごみを美しい製品に再生するアップサイクル活動を取り入れ、再生プラスチックのコミュニティを立ち上げる	846,000円
9	環境に優しいエコグッズを配布してCO2削減を推進する活動	NPO法人東京のCO2削減で都内観光を推進する会	区内商業施設や大学でエコグッズの紹介や配布、CO2削減の講習会の開催をする	115,000円

令和3年度以前

年度	事業名	団体名	活動の概要	助成金額
令和3	荒川流域における救荒植物分布調査	東京電機大学 情報分子生物学研究室	・学内の学生を対象とした学習観察会を開催し、荒川流域の救荒植物の分布調査 ・学習教材や救荒植物マップを作成	106,000円
	学童保育に通う小学生による地球温暖化を防ぐための活動	特定非営利活動法人 chance for all	ポスターやマイバッグを作成し、地球温暖化を防ぐための行動を呼びかける	161,000円
2	バイオマス「竹」利用による循環型社会構築の実用化研究	東京電機大学 理工学部	国内の余剰資源である竹を活用した土壌改良剤資材の効果検証と製品化	3,151,000円
	カヌーを使った川の清掃活動を拡大するための体制づくり	足立パドラーズ	河川のごみ拾いとカヌー教室の開催、河川の水質調査を実施	200,000円
	大谷田西部自治会レジ袋削減（つかわない）キャンペーン	大谷田西部自治会	・自治会加入全世帯にエコバッグを配布し、レジ袋削減を呼びかけ ・自治会加入促進を促すチラシを配布し、加入特典としてエコバッグをプレゼント	200,000円
	商店街オリジナルエコバッグの作成	青井兵和通り商店街 振興組合	環境への標語と商店街ロゴデザイン入りのエコバッグを作成	200,000円
	VR技術による都市部での冠水状況体験システムの研究開発	東京電機大学 未来科学部	道路冠水時に避難の困難さを仮想現実感(VR)により体験できるシステムの研究開発	4,078,000円
	足立区の環境を題材とする科学教室のデザインと実施	秀明大学 環境科学サークル	風力発電と生態系に関する小中学生向け科学教室の開催	473,000円
1	2019あだちパラフェス リユース食器★プロジェクト	あだちパラフェス実行委員会	地域のイベントの模擬店で、使い捨て食器を使わずに、試験的にユース食器を活用する	21,000円
	柳原商栄会・エコバッグ推進キャンペーン	柳原商栄会	地域のキャラクターをデザインした商店街オリジナルエコバッグを作成し、レジ袋を削減する	200,000円
	野良猫問題の対応策についての啓発活動	あだち動物共生ネットワーク	飼い主のいない猫の譲渡会の開催とパネル展示の実施により、野良猫の避妊去勢手術活動を啓発する	200,000円
平成30	綾瀬川のアユの溯上調査とエコ夢探検隊2018	特定非営利活動法人 エコロジー夢企画	・綾瀬川バス見学会 ・アユ目線で綾瀬川を登るEボート体験 親子や中学生など89名が参加。「草加パドラーズ」指導のもと、カヤックでのごみ拾いを体験した。また、親子でボートに乗り護岸の様子や水質を観察しながら、魚や昆虫の調査を実施した。	577,000円

年度	事業名	団体名	活動の概要	助成金額
29	綾瀬川のアユの溯上調査とエコ夢探検隊	特定非営利活動法人 エコロジー夢企画	・綾瀬川アユの生態調査 ・Eポートに乗って綾瀬川を観察（悪天候のため中止） 綾瀬川の魚類調査を7回実施。そのうち、アユ（合計55匹）を確認した。	634,000円
28	足立の環境を題材とする科学教室のデザインと実施	秀明大学 環境科学サークル	足立区の中学生を対象に科学教室を3回開催した。 ・身のまわりの電気と太陽光発電 ・セミに関するアンケートクイズ 2種類の中学生向け環境学習プログラムを作成した。	496,000円
	コミュニティーレベルの目標設定による家庭の節電プロジェクト	東京大学大学院 工学系研究科	同じマンションに属している家庭を1つのコミュニティーと定義し、2つのコミュニティーに対して2種類の節電目標（家庭別とコミュニティー全体）を提示し、目標達成時に“ご褒美”を提供するプロジェクトを行った。コミュニティーレベルでの取り組みのほうで、個々の家庭への節電依頼よりも節電効果が高いか否かを検証。平成28年度は、夏季に検証を実施した。	693,000円
	家庭の省エネと健康増進を両立する施策の提案に向けた基礎的研究	東京大学大学院 新領域創成科学研究科	朝方生活への転換による省エネルギーを検証するために、家庭全体および寝室のエネルギー消費量を計測した。また、居住者の健康増進効果を客観的データに基づき検証するために、寝室の温湿度や睡眠時の体動数等を計測し、睡眠の質の変化を評価した。平成28年度は7月から8月、9世帯21人で実施し10人が失敗した。	243,000円
	小学生を主たる対象とした体験実験講座	東京電機大学工学部 環境化学科	小・中学生を対象に体験実験講座を4回実施した。 ・土にかえる生分解性プラスチックでアクセサリをつくろう！ ・身近で欠かせない存在「電池」の昔と今 ・酸性、アルカリ性って何？ ・小さくて見えないけれど頼もしい味方・微生物の世界をのぞいてみよう！ ・何度でも使えるエコカイロを作ってみよう！	283,000円
27	環境意識向上を促す小学校デジタル教材開発とその効果	東京未来大学 子ども心理学部	小学校教員に「環境教育に関する実態調査」を実施し、環境教育の現状を明らかにした上で、環境に関するデジタル教材を試作、検証し、足立区の小学校の環境意識を向上させるデジタル教材を完成させた。	799,000円
	大学における環境教育の取り組み～子育て支援の視点から環境教育を考える	東京未来大学 子ども心理学部	東京未来大学こども心理学部の学生と教員による環境活動チームを作り、足立区の子どもたちや、子育て中の親、妊婦に向けた自然環境保護のための子育て支援活動を行った。具体的には、環境問題について取り上げたベビークラスや、ペットボトルで作成した楽器を用いた参加型音楽会、エコに関する劇などを行った。	850,000円
	家庭の省エネと健康増進を両立する施策の提案に向けた基礎的研究	東京大学大学院 新領域創成科学研究科	朝方生活への転換による省エネルギー効果を検証するために、家庭全体および寝室のエネルギー消費量を計測した。また、居住者の健康増進効果を客観的データに基づき検証するために、寝室の温湿度や睡眠時の体動数等を計測し、睡眠の質の変化を評価した。平成27年度は6世帯を検証。	288,000円
	コミュニティーレベルの目標設定による家庭の節電プロジェクト	東京大学大学院 工学系研究科	同じマンションに属している家庭を1つのコミュニティーと定義し、2つのコミュニティーに対して2種類の節電目標（家庭別とコミュニティー全体）を提示し、目標達成時に“ご褒美”を提供するプロジェクトを行った。コミュニティーレベルでの取り組みのほうで、個々の家庭への節電依頼よりも節電効果が高いか否かを検証した。	217,000円

年度	事業名	団体名	活動の概要	助成金額
27	足立野菜の栽培環境による栄養・呈味成分並びに栽培環境微生物叢についての変動解析とその結果に基づく栽培環境制御と改善の提案、および体験実験を通じた子供達の環境意識の更なる醸成	東京電機大学工学部環境化学科	区内で栽培された野菜に含まれる栄養・呈味成分としても重要なアミノ酸と糖の含有量分析並びに栽培環境の重要な因子のひとつである栽培環境土壌の微生物叢の分析を行った。分析結果を生産者に伝えると共に栽培環境改善を目指した更なる解析を実施することとなった。また、小中学生を主たる対象とした体験実験講座、出前授業を実施した。	1,834,000円
	国産木材・間伐材を利用したエコ機能ウォールのモデル設置事業	有限会社風大地プロダクツ	国産木材・間伐材を利用したエコ機能ウォールを製品化し、区内でモデル設置を行って期待する効果を確認し普及につなげた。モデル設置では、緑化の専門家、雨水一時貯留・浸透の技術者の協力を得て行った。	988,000円
26	環境意識向上を促す小学校デジタル教材開発とその効果	東京未来大学 こども心理学部こども保育・教育専攻	小学校教員に「環境教育に関する実態調査」を実施し、環境教育の現状を明らかにし、その上で、小学生の環境意識を向上させるための理科・家庭科・生活科などに活用できるデジタル教材を製作した。	798,000円
	東京未来大学における環境教育の取り組み	東京未来大学 こども心理学部こども心理専攻	子育て支援と環境教育を関連させた活動を行った。具体的には、昨年度の環境基金助成事業で発足させた東京未来大学の学生による環境活動チームによる、区内の子どもたちに向けたCO2削減のためのエコ活動や、iPadを使った環境に関する絵本づくり、乳幼児母親向けの紙オムツなどの環境講座を行った。	850,000円
	環境配慮行動を促進する心理的要因の検討	東京未来大学 モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	区民を対象に意識調査を行い、統計分析し、環境配慮意識を行動につなげさせる心理的要因を明らかにした。また、区と連携のもと、環境配慮型コミュニティ形成を推進する上での課題を抽出した。次に、それらの課題を解決し、区全体で実践行動を活性化していく上で鍵となる心理的要因を明らかにするための調査・提言を行った。	264,000円
	太陽熱温水器模型キット教材の製作と普及	特定非営利活動法人 エコロジー夢企画	昨年度の環境基金助成により改良した、太陽熱温水器模型キットおよび、副読本を使い、講師養成講座や小学生や親子向けの講習会を行い、普及啓発活動を行った。	700,000円
	あだち野菜からみる食と環境と健康	東京電機大学 分析化学研究室	昨年度の助成により、先端計測技術を用いて、区内で生産される野菜（小松菜など）の各種成分を分析し、その安全性と特長を明らかにした。この研究をより発展させ、栽培環境と野菜中の微量元素の関係を調査した。また、小中学校への環境や科学についての出前授業や、大学内での実験講座を実施した。	2,499,000円
	固定高分子型燃料電池用の触媒およびスタック再生の技術開発	東京電機大学 工学部電気電子工学科	燃料電池を製作する攪拌装置を新しく開発し、既存の装置と比較し有効性のあることを確認した。また、開発した攪拌装置のセルを数十枚製作して再生させる燃料電池に組み込み、高効率で安定した燃料電池として再生されることを検証した。	2,484,000円

年度	事業名	団体名	活動の概要	助成金額
25	循環型資材（e-box）による段ボール箱の削減とその普及活動	セブンエイト流通コンサルティング合同会社	再利用されていない業務用段ボール箱を300回程度リユースできるe-boxに変えることで、段ボール箱の廃棄と森林伐採の削減を図り、CO2削減による地球環境負荷の軽減を目指した。	904,000円
	足立区の食と環境を科学する	東京電機大学 分析化学研究室	先端計測技術を用いて、区内で生産される野菜（小松菜など）の各種成分を分析し、その安全性と特長を明らかにする。生育土壌もあわせて分析し、野菜と土壌環境に関する知見を得た。	2,500,000円
	東京未来大学における環境活動の取り組み	東京未来大学 こども心理学部こども心理専攻	学生による環境活動チームを作り、区内の子どもたちに向けたCO2削減のためのエコ活動（iPadを使った環境対策講座、エコに関する紙芝居や劇を取り入れたワークショップなど）を行った。	490,000円
	足立区の環境を対象にしたデジタル紙芝居の制作における基礎的研究	東京未来大学 こども心理学部こども保育・教育専攻	区内小学生を対象にデジタル紙芝居を制作し、DVD化して各学校へ配布。区の身近な動物や植物を知ることができるもの、自然物を使った遊びや区内で食べている食べ物のフードマイレージの問題など視覚的に理解できるようにした。	778,000円
	環境配慮行動を促進する心理的要因の検討	東京未来大学 モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	区民を対象に意識調査を行い、統計分析し、環境配慮行動を意識につなげさせる心理的要因を明らかにして提言を行った。	29,000円
	太陽熱温水器模型キット教材の製作と普及	特定非営利活動法人 エコロジー夢企画	ソーラーシステム振興協会とともに開発した太陽熱温水器模型キットを改良し、副読本を作成するとともに、学校教育の教材として普及させた。	1,000,000円